



琢 磨

主 造 律
自 創 規

朝日中通心

生徒数 (令和 7. 11. 28 現在) 総数 312 人
1 年 111 人 2 年 97 人 3 年 104 人

令 和 7 年 1 1 月 2 8 日

自分の生き方を求め 今を大切にする
朝日中生を育成する

奄 美 市 名 瀬 朝 日 2 9 番 地 1
TEL 52-1195 FAX 53-5650

HP: <http://www.city.amami.kagoshima.jp/asahi-j/>

当たり前のことではない

校長 埜中 勝実

修学旅行で長崎を訪れました。私自身、これまで幾度となく足を運んできた地ではありませんが、戦後八十年という節目にあたる今年、その意味の重さも相まって、出発前の事前授業では核兵器の脅威について、二年生のみなさんと共に考える時間を設けさせていただきました。

原爆資料館や平和公園に立ち、被爆者の方々の証言にも耳を傾けると、核兵器の恐ろしさや人類が歩んできた歴史の悲惨さが胸に迫ってきます。単に「核兵器廃絶」という願いを理想とするのではなく、未来を担う子どもたちに託すための現実的課題として受け止めなければならぬことを再確認しました。

長崎の街並みは、今では活気に満ち、観光地としても多くの人々を惹きつけています。その地では、一発の原子爆弾により一瞬にして多くの命が奪われ、何の罪もない人々の日常が破壊された過去があります。私たちは、その事実を忘れず、後世に語り継いでいかなければなりません。それが、平和を守る第一歩です。ただの知識として学ぶだけでなく、現地に立ち、目で見、心で感じる体験は欠かせません。今回の修学旅行を通して実感したことは、教室での学び以上に深く心に刻まれたことでしょう。

戦後八十年という時間は、決して短くはありません。しかし、被爆体験を直接語れる世代が年々少なくなっている現状を考えると、私たちが責任を持ってその記憶を受け継ぎ、次の世代へと繋いでいくしかありません。

今回の体験を通して、みなさんが「平和とは当たり前のことではない」と気づいてくれたことが、日常の小さな行動や、人との関わり方に生かされることを期待しています。

「平和の尊さ」を学んだ修学旅行

二年生は十一月十日(月)から三泊四日の日程で修学旅行を実施しました。初日は学校から名瀬港に移動し、フェリーに乗船。翌日、鹿児島新港に到着後、長崎に向かい被爆者体験講話を聞きました。

翌日は、平和公園での折鶴奉納式・原爆資料館を見学し、改めて戦争の恐ろしさと平和の大切さを学びました。午後からは自主研修及びよしもと福岡劇場を参観しました。

最終日は、生徒が楽しみにしていたグリーンランドを訪れ、それぞれ自由に散策しながら充実した時間を過ごしていました。

修学旅行における様々な活動を通して、「見聞を広げる」「規律を守る」「友情を深める」という目標もしっかりと達成できました。



「協力する大切さ」を学んだ集団宿泊学習

一年生は十一月十二日(火)から十三日(水)の二日間、集団宿泊学習を実施しました。一日目の活動では、研修始めの式を行った後、クイズウォークラリーや藍染め、天体観測等を行う予定でしたが、降雨のため一部のプログラムを変更して活動を行いました。

二日目は役割を分担しながら、協力しておいしいカレーづくりに取り組みました。どの活動もとても充実した活動になったようです。

集団生活を通して、「規律の重要性や協力することの大切さ」「自然に親しんだり、体力の向上を図ったりすること」「寝食を共にすることで絆を深めること」など多くの学びを得ることができたようです。

今後も集団宿泊学習で身に付けたことや学んだことを家庭生活や学校生活で生かしてほしいと思います。一年生のこれからの成長がますます楽しみです。



マナー講座を開催しました

11月11日（火）に「高校入試での面接試験を見据え、節度あるマナー・会話の仕方を学ぶ。」「将来社会人の一員になるという認識と姿勢を学ぶ」ことを目的として、マナー講座を開催しました。

3年生の生徒は、講師の奄美看護福祉専門学校の寺師敬子副校長先生から人は「最初の印象がその後の関係性に左右すること。」「第一印象は出会ってから数秒で決まること。」「第一印象は外見や態度などの言語以外の要素が重視されること。」などを教えてもらいました。

また、面接試験を控えている3年生に対して面接試験では日頃の態度が出てしまうこと、直前に練習しても面接官はそれを見抜くため、日頃の習慣や態度、人との接し方に気を付けることが大切であることも教えていただきました。本日の学びを基に、自らの生活等を振り返りましょう。



奄美大島の素晴らしい伝統工芸を学んだ「大島紬」の着付け体験

11月12日（水）に本場奄美大島紬産地再生協議会（以下 紬協議会）の事業で、奄美大島の伝統工芸品である本場大島紬の「着付け体験学習」が3年生を対象に実施されました。この事業は、次代を担う中学生に伝統文化への認識を深めるとともに、本場奄美大島紬の伝統技法や緻密な緋織（かすりおり）等のものづくりの技が地域に根付いていることを発見させることで、郷土愛を育くむことを目的にしています。

普段、着用する機会が少ない大島紬ですが、紬協議会の皆様の協力で気軽に楽しく着付けを行うことができました。貴重な体験の場を提供してくださった紬協会の皆様に対しまして、心よりお礼申し上げます。



出前授業を開催しました

11月13日（木）に県立奄美高校の生徒・先生方を講師としてお招きして、出前授業を開催しました。学校や学科の特色、取得できる資格や卒業生の動向等について説明を聞いた後、4つの教室に分かれ実習形式で活動しました。手作りのウェディングドレスやクレーンゲームの実物を使いながら説明をしてくださるなど様々な準備と工夫があり、奄美高校の生徒・先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。授業を受けた3年生も楽しそうに活動していました。



「先輩に郷土を学ぶ講演会」（家庭教育学級）を開催しました

11月8日（土）に新元一文さん（（一社）巡めぐる恵めぐる）、前山真吾さん（唄者）を講師としてお招きして、先輩に郷土を学ぶ講演会を開催しました。この講演会では「朝日校区のよさを八月踊りの視点から再認識する」という演題で、進行は本校家庭教育学級長の成田小百合さんが務めてくださいました。

この八月踊りが農業（稲作）との関わりが深いことや島唄の歌詞のつくり等について学び、朝日校区のよさを再認識することができました。



12月学校行事

【スクールカウンセラー来校予定日 永田先生：3日、10日、17日 丸内先生：11日】

11月26日（水）～28日（金）	2学期期末テスト	13日（土）	校内ロードレース大会①②③
3日（水）	校内人権週間（～9日）	14日（日）	市民総ぐるみ清掃
4日（木）	3年健康教室	24日（水）	終業式、PTA新聞発行
12日（金）	奄美群島日本復帰記念月間における授業（道徳）	25日（木）	日本復帰の日のつどい